



道北エリア
利尻富士町



漁師は独りではなく互いに助け合う仕事

消防士を経て、繁忙期のリゾート派遣で各地を転々とする中、派遣された利尻富士町。そこで漁業を手伝ったことがきっかけとなり、まさかの漁師の道へ。偶然の縁から一念発起した彼の現在とは？

プロフィール

名前 皆川 俊也 年齢 26

前職 サービス業

以前の居住地 山形県

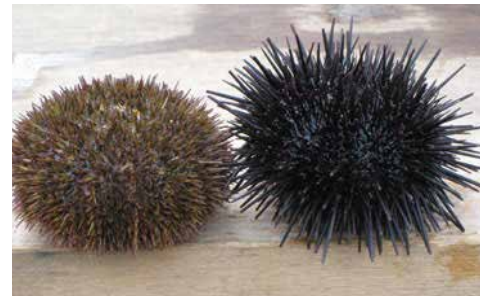


新規就業を考えたきっかけから実行までのプロセス

リゾート派遣で利尻富士町へ▶派遣先で漁業を手伝う▶地元に戻るが、利尻富士町で仲良くなった漁師から誘われ移住を決意▶1年間の漁業研修を終え、漁師として新たな人生を歩み始める▶利尻漁業協同組合の組合員資格取得

現在の仕事内容

ホッケ刺網漁業、コンブ漁業、ウニ漁業など時期によってさまざまな漁業を学んでいるところです。最近、小さいですが船を譲っていただき、一人で沖に出られるようになったこともあり、自分のペースで働くこともありますが、ほとんどは研修期間にお世話になった親方からの紹介で先輩たちのお手伝いをしています。季節と魚種によって漁業の方法も変わりますし、技術と経験を得るために毎日が勉強のつもりで取り組んでいます。



仕事のやりがいや魅力

リゾート派遣で出会った、この町の人たちとの交流が楽しくて、漁師として独立することを積極的に応援してくれることを知り、この町で漁師になろうと決意しました。自分が頑張るほど、仕事が広がっていくことに魅力を感じました。漁師はいわば個人商店みたいな



もので、やればやっただけ、自分の稼ぎになります。でも、同時に助け合う仕事でもあります。一人で沖に出て操業しているホッケ刺網漁業だけでなく、他の漁師の作業などを手伝うことで、それぞれの繁忙期を乗り切り、天候が悪いときや閑散期には一緒に漁具をメンテナンスしています。そうやって大切な関係を築いていきたいです。

現在の暮らしや地域との交流

移住してきた当初は、研修をしながら先輩の家に住み込みで働かせてもらいましたが、今は町に斡旋していただいた広い一軒家でひとり暮らしをしています。漁師仲間と毎日のように顔を合わせながら仕事をしているため、お互いに食べ物を持ち寄って分け合うことが多いです。農家さんから野菜をもらうこともあるので、旬の食材には恵まれています。とにかく食生活は贅沢かもしれませんね。

今後の目標

自分にできる仕事が増えてくると、周囲から頼まれる仕事も徐々に増えてきました。今後も毎日少しずつでも、できることを増やしていくのが目標です。

これから新規就業を目指す方へ

手ぶらで島に来ても、住む、食べる、働くことができると思うので、興味があったら役場に問い合わせしてみてください。漁師として独立する人を積極的に受け入れてくれる町なので、他の地域で研修を受けてから、ここで働いている人たちもたくさんいます。また、同じ島でも町や地区ごとに特徴があるので比べてみるのもいいかもしれません。